

**2023年度（2024年3月期）
第1四半期連結累計期間
（2023年4月～6月）
決算説明資料**

2023年7月26日
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2023 FDK CORPORATION

2023年度第1四半期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2023年度第1四半期の業績	
2023年度第1四半期連結決算概要	3
営業利益変動要因（前年同期比）	4
連結貸借対照表	5
セグメント別情報	6
2. 2023年度（通期）見通し	8

今回ご説明させていただく内容です。

2023年度第1四半期連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年同期比	
				増減率
売上高	154.6	148.6	△6.0	△3.9%
営業利益 (△損失) (営業利益率)	3.2 (2.1%)	△1.3 (△0.9%)	△4.5 (△3.0pt)	-
経常利益 (経常利益率)	4.5 (2.9%)	0.4 (0.3%)	△4.0 (△2.6pt)	△89.4%
四半期純利益 (△損失) ※ (純利益率)	1.6 (1.1%)	△1.1 (△0.8%)	△2.8 (△1.9pt)	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	4.83円	△3.32円	△8.15円
-------------	-------	--------	--------

為替レート	(円/1USD)	126.50円	135.81円	+9.31円
	(円/1EUR)	136.76円	147.90円	+11.14円

ROIC※	0.2%	△1.0%	△1.2pt
-------	------	-------	--------

※ROIC = 税引後営業利益 / (自己資本 + 有利子負債)

※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

はじめに、連結決算概要です。

■ 電池事業の売上高はリチウム電池が国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けで増加したことや設備関連ビジネスが増加したものの、ニッケル水素電池が国内の市販用途向けや海外の工業用途向けの売上減およびアルカリ乾電池が前年同期並みとなったことから、事業全体として前年同期並みとなりました。電子事業の売上高はスイッチング電源が増加しましたが、各種モジュールが減少したことや前期に実施したコイルデバイスなどの事業譲渡による売上減により、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期に比べ6億円減少の148.6億円となりました。

■ 営業利益は経費削減による利益増がありました。売上減や原材料価格・光熱費高騰の影響により、1.3億円の損失（前年同期は3.2億円の営業利益）となりました。

■ 経常利益は1.5億円の為替差益を営業外収益として計上したものの、前年同期に比べ4億円減少の0.4億円となりました。

■ 四半期純利益は減損損失の計上や法人税等の計上により、1.1億円の損失（前年同期は1.6億円の四半期純利益）となりました。

■ 損益面はいずれも期初の想定より良化しました。

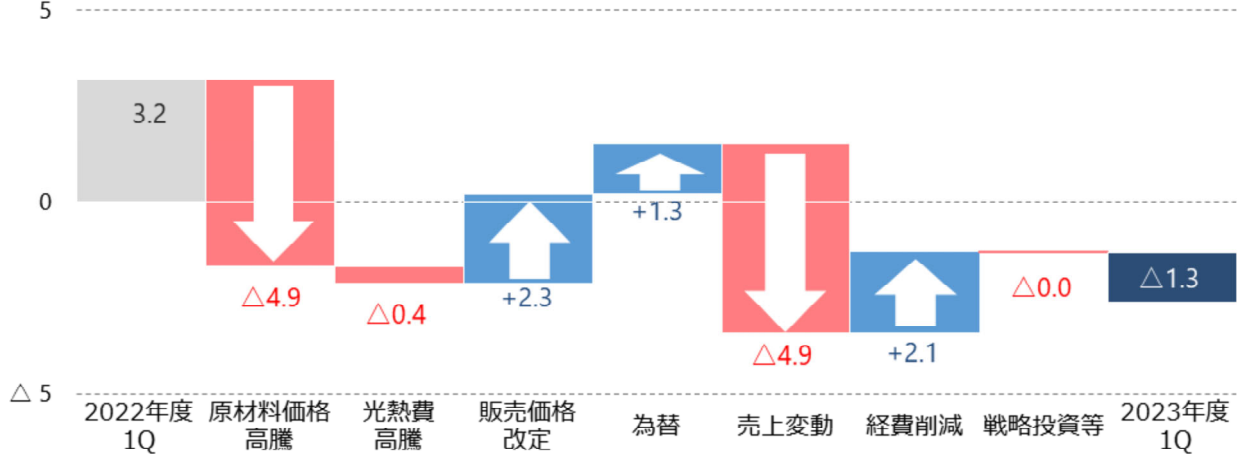
■ ROICは前年同期に比べ1.2pt減の△1.0%となりました。

営業利益変動要因（前年同期比）

（単位：億円）

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年同期比	
				増減率
営業利益（△損失） （営業利益率）	3.2 (2.1%)	△1.3 (△0.9%)	△4.5 (△3.0pt)	-

（億円）



※0.1億円未満切り捨て

次に、営業利益の変動要因です。

■ 原材料価格・光熱費の高騰による減益影響がありましたが、販売価格改定により抑制しました。また、為替も好転影響がありました。

電池事業のニッケル水素電池や電子事業の各種モジュールの売上変動影響がありましたが、経費削減等で抑制しました。

しかしながら、すべての減益影響を抑制することができず、1.3億円の営業損失となりました。

連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

科目	2022年度	2023年度 1Q	増減	科目	2022年度	2023年度 1Q	増減
流動資産	318.2	334.5	+16.3	流動負債	309.2	320.0	+10.7
(受取手形及び売掛金)	(162.2)	(177.8)	+15.5	(短期借入金)	(121.4)	(132.9)	+11.5
(その他流動資産)	(21.3)	(11.3)	△9.9	(その他流動負債)	(23.5)	(16.3)	△7.1
固定資産	153.0	151.6	△1.4	固定負債	30.0	28.8	△1.1
(有形固定資産)	(144.7)	(143.4)	△1.3	(退職給付に係る負債)	(19.8)	(18.8)	△0.9
				負債合計	339.3	348.9	+9.5
				株主資本	127.6	126.5	△1.1
				(利益剰余金)	(△451.1)	(△452.2)	△1.1
				その他の包括利益累計額	4.2	10.7	+6.5
				(為替換算調整勘定)	(18.2)	(23.8)	(+5.5)
				(退職給付に係る調整累計額)	(△14.3)	(△13.5)	(+0.8)
				純資産合計	131.9	137.3	+5.3
資産合計	471.3	486.2	+14.9	負債純資産合計	471.3	486.2	+14.9

自己資本比率	28.0%	28.2%	+0.2pt	有利子負債残高	122.2	133.8	+11.5
--------	-------	-------	--------	---------	-------	-------	-------

※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

次に、連結貸借対照表です。

■ 流動資産は、前年度に比べ16.3億円増加の334.5億円となりました。流動資産増加の主な要因は、未収消費税などのその他流動資産が減少した一方、受取手形及び売掛金が15.5億円増加したことによるものです。

■ 固定資産は、前年度に比べ1.4億円減少の151.6億円となりました。固定資産減少の主な要因は、有形固定資産が1.3億円減少したことによるものです。

■ 流動負債は、前年度に比べ10.7億円増加の320億円となりました。流動負債増加の主な要因は、未払賞与などのその他流動負債が減少した一方、短期借入金が増加したことによるものです。

■ 固定負債は、前年度に比べ1.1億円減少の28.8億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

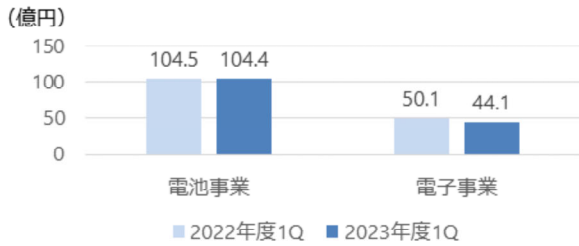
■ 純資産合計は、前年度に比べ5.3億円増加の137.3億円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が1.1億円減少した一方、為替換算調整勘定が5.5億円、退職給付に係る調整累計額が0.8億円、それぞれ増加したことによるものです。

■ 有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度に比べ11.5億増加の133.8億円となりました。

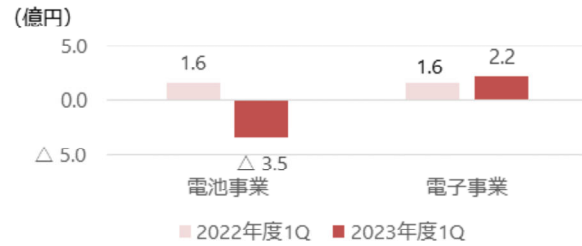
セグメント別情報

FDK

売上高



営業利益



(単位：億円)

		2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年同期比	
					増減率
電池事業	売上高	104.5	104.4	△0.0	△0.1%
	セグメント利益 (△損失) (率)	1.6 (1.5%)	△3.5 (△3.4%)	△5.1 (△4.9pt)	-
電子事業	売上高	50.1	44.1	△5.9	△11.9%
	セグメント利益 (率)	1.6 (3.2%)	2.2 (5.0%)	+0.5 (+1.8pt)	+36.7%
合計	売上高	154.6	148.6	△6.0	△3.9%
	営業利益 (△損失) (率)	3.2 (2.1%)	△1.3 (△0.9%)	△4.5 (△3.0pt)	-

※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

次に、セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高はリチウム電池が国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けで増加したことや設備関連ビジネスが増加したものの、ニッケル水素電池が国内の市販用途向けや海外の工業用途向けの売上減およびアルカリ乾電池が前年同期並みとなったことから、前年同期並みの104.4億円、セグメント利益は原材料価格・光熱費高騰の影響により、3.5億円の損失となりました。

■ 電子事業の売上高はスイッチング電源が増加しましたが、各種モジュールや前期に実施したコイルデバイスなどの事業譲渡による売上減により、前年同期に比べ5.9億円減少の44.1億円、セグメント利益は販売機種の変化や経費削減により、前年同期に比べ0.5億円増加の2.2億円となりました。

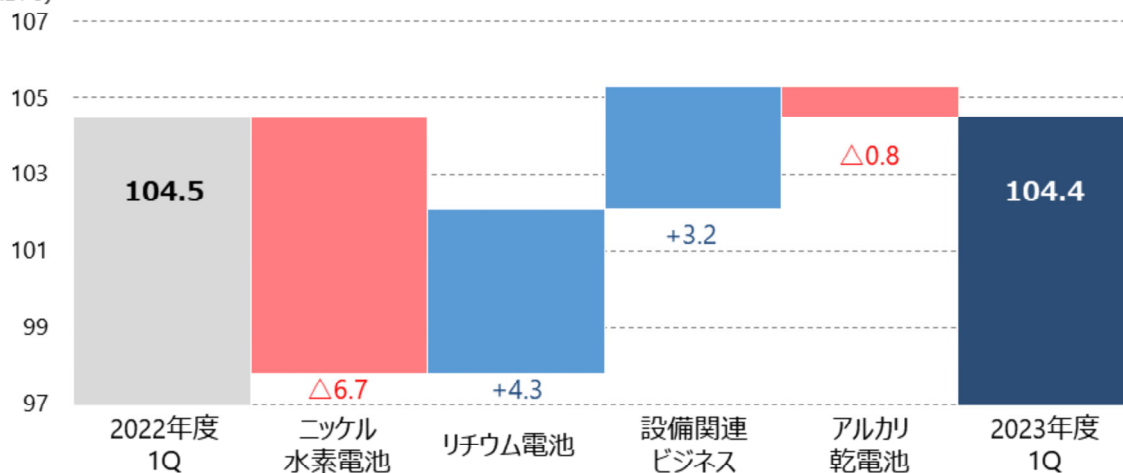
セグメント別情報（売上概況） 電池事業

FDK

(単位：億円)

		2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年度比	
					増減率
電池 事業	売上高	104.5	104.4	△0.0	△0.1%
	セグメント利益（△損失） (率)	1.6 (1.5%)	△3.5 (△3.4%)	△5.1 (△4.9pt)	-

(億円)



© 2023 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の売上概況です。

- ニッケル水素電池は、販売価格の見直しや円安効果もあったものの、国内の市販用途向けや海外の工業用途向けでの在庫調整や所要減により、前年同期を下回りました。
- リチウム電池は、国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが堅調に推移したことや円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。
- 設備関連ビジネスは、販売機種の変化などにより、前年同期を上回りました。
- アルカリ乾電池は、前年同期並みとなりました。

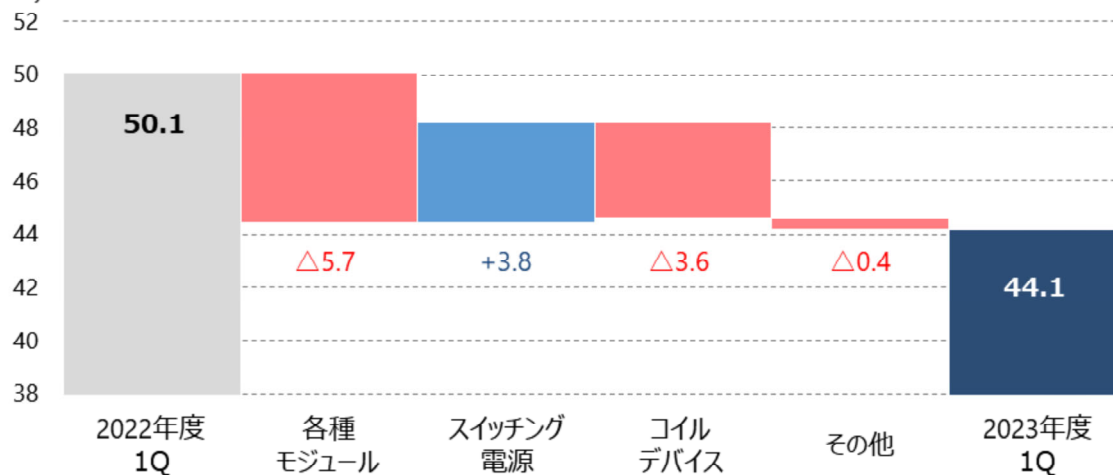
セグメント別情報（売上概況） 電子事業

FDK

(単位：億円)

		2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年度比	
					増減率
電子 事業	売上高	50.1	44.1	△5.9	△11.9%
	セグメント利益 (率)	1.6 (3.2%)	2.2 (5.0%)	+0.5 (+1.8pt)	+36.7%

(億円)



© 2023 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

続いて、電子事業については、

- 各種モジュールはモビリティ・タブレット用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。
- スwitching電源は半導体装置用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。
- コイルデバイスは前期に実施した事業譲渡により、前年同期を下回りました。

2023年度（通期）見通し

FDK

（単位：億円）

	2022年度 （実績）	2023年度 （予想）	前年度比	
				増減率
売上高	627.8	650.0	+22.1	+3.5%
営業利益 （営業利益率）	7.8 (1.3%)	5.0 (0.8%)	△2.8 (△0.5pt)	△36.7%
経常利益 （経常利益率）	8.5 (1.4%)	4.0 (0.6%)	△4.5 (△0.8pt)	△53.0%
当期純利益※ （当期純利益率）	3.1 (0.5%)	1.0 (0.2%)	△2.1 (△0.3pt)	△68.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	9.22円	2.90円	△6.32円
------------	-------	-------	--------

為替レート	（円/1USD）	135.07円	132.50円	△2.57円
	（円/1EUR）	140.84円	142.50円	+1.66円

※0.1億円未満切り捨て

© 2023 FDK CORPORATION

次に、2023年度の見通しです。

- 売上高は、650億円で22.1億円の増収。
- 営業利益は、5億円、純利益は1億円の見通しです。
- 為替レートは、1USドル、132.50円、1ユーロ、142.50円を想定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

FDK

確かな技術 育てる未来